

施工者
専用

取扱説明書

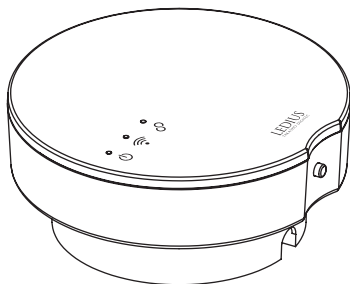
HIC-022S

 **TAKASHO**

T-0109190-DI

ローボルト12V/24V

LEDIUS GEMS コーディネーター
HIC-022S



この度は、当社の商品をご購入いただき
誠にありがとうございます。

この説明書は、本商品の施工方法、使用方法、注意事項等について記載しています。素敵なガーデニングライフをより一層豊かに、安全にお楽しみいただくために、本商品のご使用前に、この説明書をよくお読みいただき、内容をよく理解されてから、正しくご使用ください。また、お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。



はじめに

本システムについて

本システムは無線通信を利用した商品であるため、混信や干渉により意図どおりに機能を使用できないことがあります。これによる事件・事故および損害の発生などについて、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

ここに書かれた内容は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐための重要な内容です。安全にお使いいただくために、必ずお守りください。取扱説明書の内容から逸脱した行為による不具合や事故の発生については、責任を負いかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

-  **警告** 誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
-  **注意** 誤った取り扱いをすると、軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。

警告

- この器具は屋外用製品ですが、冠水の恐れのある場所、くぼ地など水のたまる場所、腐食性ガスの発生する場所、振動や衝撃の多い場所では使用しないでください。このような場所で使用すると火災、感電、不点灯などの故障の原因となります。
- 布や紙など、燃えやすいものをかぶせないでください。
- 金属やゴミを差し込まないでください。(器具のすき間へ、針金やヘアピン、可燃物などを差し込まないでください)
- 電源コードが傷んだ状態では使用しないでください。
- 使用商品の総W数が専用DCトランスの容量70%を超えた状態で使用しないでください。加熱または発火原因となります。
- 異常時は使用を停止してください。(煙が出たり、異臭がしたら、すぐにスイッチを切ってください)
- お客様自身で分解、改造は絶対にしないでください。

注意

- この商品は電気製品であり永久には使用できません。
- この商品を施工する場合は、メンテナンスを考慮した施工を行ってください。
- 専用DCトランス以外の電源は使用しないでください。
- 使用環境が-10℃以下および40℃以上になる場所では使用しないでください。
- 強い振動、衝撃のある場所で使用しないでください。
- 引火する危険のある場所で使用しないでください。
- コードを無理に引っ張らないでください。
- 給湯器、空調機器の排気が直接商品に当たらないように施工してください。
- 殺虫剤や苛性ソーダ、塩酸などの薬品を商品にかけないでください。
- 目的以外の使用は絶対にしないでください。
- 無理な荷重をかけないでください。
- 海岸地帯など塩害が起こりやすい場所では、発錆や腐食による不具合が発生する可能性がありますので使用しないでください。
- 器具を水洗いしないでください。
- 国外で使用しないでください。
- 高圧洗浄器を使用し洗浄しないでください。
- コードを水などの液体につけないでください。
- 各部品の尖った部分で手などを傷つけないようにしてください。
- 長期間使用しない場合は、電源スイッチを切ってください。
- 商品が破損した場合は、すぐに施工店に連絡してください。破損したまま使用すると事故の原因になります。
- 水勾配を考慮し、水没しないように施工してください。

手順と流れ

必ず以下の順序にて施工を行ってください

① 動作環境を満たしているか、ご確認ください。

- ➡ 動作環境 < P.4 >
- ➡ 施工前チェック < P.6 >

② 初期設定（動作確認）を実施ください。

- ➡ 「かんたん！初期設定ガイド」(別紙)

③ 施工を実施ください。

- ➡ 施工方法 < P.9 >

④ 施工後（引きわたし）

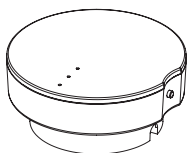
- ➡ 施主様へお伝えください < P.11 >

※ 下記、ご一読ください。

ご使用上のお願い / その他 / 商標について … < P.11 >

梱包品一覧

[本体]



[取付金具一式]

取付金具
(壁掛用)



スパイク

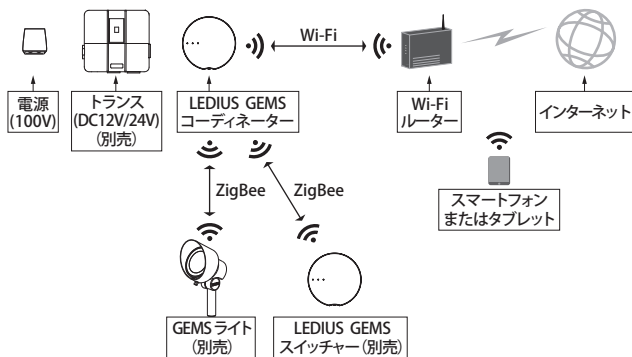


[その他]

- 「かんたん！初期設定ガイド」
- 取扱説明書 (本書)

- 皿ネジ (M3×8) × 2本 (うち予備1本)
- タッピングネジ (4×25) × 2本 (うち予備1本)
- コンクリートプラグ × 2本 (うち予備1本)

LEDIUS GEMS コーディネーターを使うために必要なもの



■ トランスについて

トランスが必要です。AC100V電源の近くに設置し、DC12V/24Vに変圧します。常時点灯回路に接続、または、トランスの表示モニタを「F」(常時点灯モード)にしてご使用ください。

■ インターネットについて

4GやLTEなどのモバイル回線でもご利用いただけますが、本製品を安定してご利用いただくために固定回線のご利用をおすすめします。

■ Wi-Fiルーターについて

本製品の設置予定場所にてWi-Fiの電波強度が-70dBm以上になるようWi-Fiルーターを設置してください。可能であれば、Wi-Fiルーターは本製品により近い位置に設置ください。

■ スマートフォン・タブレットについて

デバイス
iPhone / iPad / iPod touch /
Android phone / Android tablet

■ Wi-Fiについて

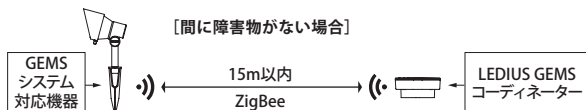
- 周波数2.4Ghzの801.11b/g/n対応Wi-Fiを使用してください。また、利用チャンネルの帯域幅は、20MHzに設定してご利用ください。
- Wi-Fi名称と接続パスワードは特殊文字を使用しないでください(例えば:スペース、ハイフン、アンダーバーや記号等)。英文字、数字のみ使用してください。
- WEP方式のWi-Fiを使用しないでください。WEP方式は旧式であり安全上リスクがありますので、WPAもしくはWPA2(両方とも)方式をご利用ください。
- 無線接続品質は下記のような状況で影響される可能性があります。
 - ・ 金属ドアが コーディネーターとWi-Fiルーターの間にある
 - ・ コンクリート、石、ブロックタイプの壁、もしくはアルミ製の断熱材が コーディネーターとWi-Fiルーターの間にある
 - ・ 多重の壁が コーディネーターとWi-Fiルーターの間にある
 - ・ 防火ドアもしくは防火ガラスが コーディネーターとWi-Fiルーターの間にある
 - ・ 鉄製の柵が コーディネーターとWi-Fiルーターの間にある
- ラジオ等の無線装置から離れた場所にしてください。無線装置とコーディネーターの間は2m以上離して置いてください。 コーディネーターの電源は、無線装置の電源と同じコンセントを利用しないでください。

■ ZigBeeについて

- ・規格: IEEE802.15.4
- ・周波数: 2.4GHz
- ・伝送速度: 250kbps

● 通信距離 (ZigBee) について

安定してご利用いただくためにコーディネーターとGEMSシステム対応機器までの距離を15m以内(推奨)としてください。

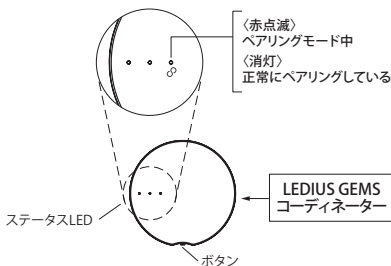


● 無線接続品質は下記のような状況で影響される可能性があります。

- ・金属ドアがコーディネーターと GEMS システム対応機器の間にある
- ・コンクリート、石、ブロックタイプの壁、もしくはアルミ質の断熱材がコーディネーターと GEMS システム対応機器の間にある
- ・多重の壁がコーディネーターと GEMS システム対応機器の間にある
- ・防火ドアもしくは防火ガラスがコーディネーターと GEMS システム対応機器の間にある
- ・鉄製の柵がコーディネーターと GEMS システム対応機器の間にある

● ペアリングモード

コーディネーターは電源(DC12/24V)を投入し、ボタンを5秒長押しするとペアリングモードに入ります。ペアリングモード中はステータスLEDが赤色点滅します。



● ZigBee ロゴについて

ZigBee®



左記ZigBeeのロゴはZigBee Allianceの登録商標または商標です。2.4GHz帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。同一ロゴを搭載する機器間での接続可否を示すものではありません。

施工前チェック

① 施主様に関する確認

- 施主様はインターネットに接続されたWi-Fi環境をご利用中であることを確認済み。
- 施主様はスマホまたはタブレットをご利用中であることを確認済み。

● 測定方法

Wi-Fi Analyzerなど電波強度を測定できる無料アプリをダウンロードし、設置予定場所にて電波強度を測定します。Wi-Fiの電波強度が-70dBm以上が必要です。

※Wi-Fiの電波強度が-70dBm以下の場合は環境の改善が必要です。

※Wi-Fiの電波は大きく分けて2.4Ghzと5Ghzの2種類がありますが、コーディネーターは2.4Ghzのみ使用可能です。速度測定を行う場合は2.4GhzのWi-Fi(IEEE802.11b,g,n)に接続した状態で行ってください。

※測定結果と、実際にコーディネーター設置後の通信速度に差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

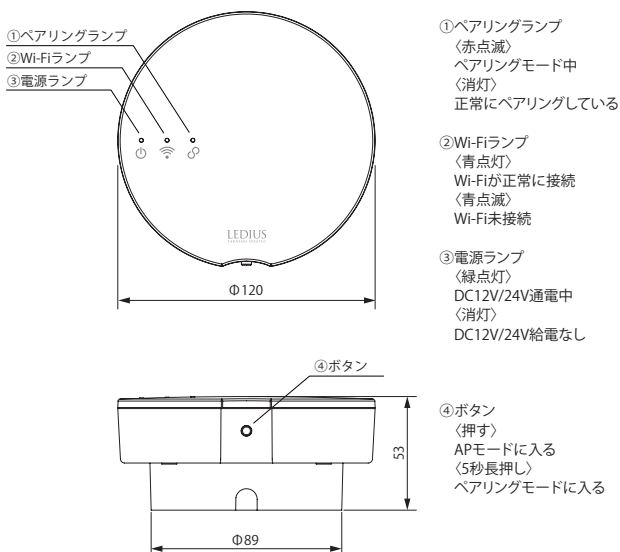
② Wi-Fiが届く事を現場で確認

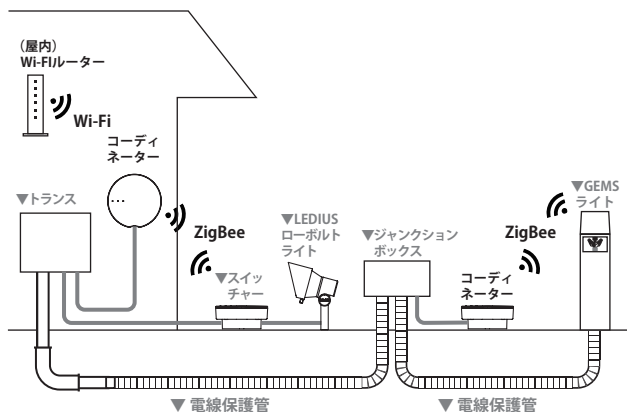
- Wi-Fiを現場でチェック済み。(Wi-Fiが届かない場合は、市販の中継器を使用する等、設置場所での電波を確保するようにしてください。)

寸法及び名称

- 付属品：取付金具一式
- コード長：2m
- 単位：mm

LEDIUS GEMS コーディネーター





▼：別売品となります。施工時に必要となりますので、ご購入ください。(p-8)

コーディネーターは常時通電が必要です。トランスは常時点灯回路付をお選びください。コンクリート、モルタルなどへ配線する場合は、電源コードを電線保護管（別売）に必ず通し、不乾性パテ（別売）で止水処理を行い、メンテナンスができるように施工してください。

別売品の紹介

■ 専用トランス (別売)



*イメージは
HEA-021G/I

- HEA-021G/I, HEA-016G/I, HEA-017G/I
LEDIUS ローボルトトランス
35W/75W/150W常時点灯回路付
- HEA-015G/I
LEDIUS ローボルトトランス
15W明るさ感度調整付
- HEA-014G/I, HEA-006W, HEA-007W
LEDIUS 24Vトランス
150W/300W/600W
- HEA-020K
LEDIUS ローボルトトランス35W
常時点灯回路付 独立柱タイプ

※常時点灯回路以外を使用する場合は、
表示モニタに『F』が表示されている
状態にて使用する必要があります。

■ スイッチャー (別売)



- HIC-023C
LEDIUS GEMS スイッチャー

■ 電源コード (別売)

※以下、電源コードと表記



HCE-0002/0003/0004, HEC-035K
12V用コード 5m/15m/100m, 50m
HEC-029K/030K
24V用コード 30m/100m

■ ドライコーン (別売)



HCE-0001/0014, HEC-0009
12V用ドライコーン
4個入/10個入/150個入
HCE-032G/033G
24V用ドライコーン
10個入/100個入

■ GEMS ライト (別売)



- HBB-C53C/S
ガーデン
アップライト GEMS
白〜電
- HBB-M54C/S
ガーデン
アップライト GEMS
フルカラー



- HBC-C73P/N/K/R/S/G
エバーアート
ポールライト GEMS
白〜電
- HBC-M74P/N/K/R/S/G
エバーアート
ポールライト GEMS
フルカラー

初期設定 (動作確認)

- コーディネーターをトランスに繋いだ状態にて、Wi-Fi ルーターの近くで初期設定を実施したのち、動作確認を行ってください。
- 詳しくは「かんたん!初期設定ガイド」をご参照ください。

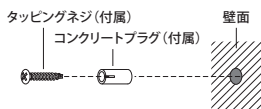
初期設定(動作確認)後、施工を行ってください

【壁面施工の場合】

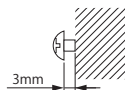
1 タッピングネジ(付属)を取り付けます【図A】【図B】

タッピングネジ(付属)を壁面に取り付けます。
タッピングネジ(付属)の頭は壁面より3mm程浮かせて取り付けます。

【図A】



【図B】



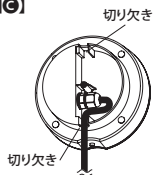
2 コードを接続します【図C】

- 1, 本体コードを切り欠きに通します。
- 2, 本体コードをローボルトトランス又は電源コードに接続します。

⚠️ ご注意

- 本製品は必ず常時点灯回路に接続、または、トランスの表示モータを「F」(常時点灯モード)にしてご使用ください。
- 接続する際は、必ず白(+)同士、黒(-)同士で接続してください。
- コードの接続部は、ローボルトトランス内部もしくはジャンクションボックス内部におさめてください。または、ドライコーンの取扱説明書に従い接続してください。

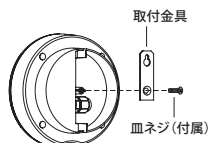
【図C】



3 取付金具を取り付けます【図D】

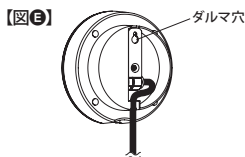
皿ネジ(付属)で取付金具(付属)を製品に取り付けます。

【図D】



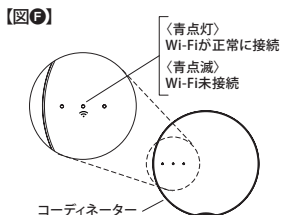
4 壁面に取り付けます【図E】

取付金具(付属)のダルマ穴にタッピングネジ(付属)を引っ掛け、取り付けます。



5 受信確認【図F】

ステータスLEDでWi-Fiを受信していることを確認してください。



6 動作確認

スイッチャー(別売)やGEMSライト(別売)を施工し、アプリケーションにて動作確認を行ってください。

【地上施工の場合】

1 コードを接続します【図G】

- 1, 本体コードを切り欠きに通します。
- 2, 本体コードをローボルトトランス又は電源コードに接続します。

⚠️ ご注意

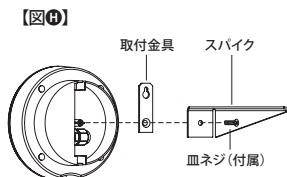
- 本製品は必ず常時点灯回路に接続、またはトランスの表示モニタを「F」(常時点灯モード)にしてご使用ください。
- 接続する際は、必ず白(+)同士、黒(-)同士で接続してください。
- コードの接続部は、ローボルトトランス内部もしくはジャンクションボックス内部におさめてください。または、ドライコーンの取扱説明書に従い接続してください。

【図G】



2 取付金具とスパイクを取り付けます【図H】

皿ネジ(付属)で取付金具(付属)とスパイク(付属)を製品に取り付けます。



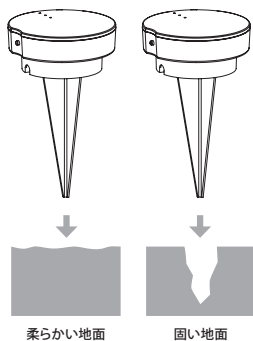
3 スパイクを差し込み固定します【図I】

地面が柔らかい場合は、そのまま本体を持って地面に差し込んでください。

⚠️ ご注意

地面が固い場合は、スコップ等で地面をほぐし、スパイクを差し込んでください。無理に差し込むと商品が破損する恐れがあります。

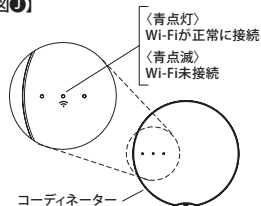
【図I】



4 受信確認【図J】

ステータスLEDでWi-Fiを受信していることを確認してください。

【図J】



5 動作確認

スイッチャー(別売)やGEMSライト(別売)を施工し、アプリケーションにて動作確認を行ってください。

施主様へお伝えください

●【パッケージ】を保管いただくようお願いください。

パッケージにはシリアルナンバーやメンテナンスQ&Aの記載があり、保証書にもなっていますので、大切に保管いただくことが必要です。

ご使用上のお願い

■こんなところには設置しない

- テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器、エアコン、給湯器リモコン（インターホン機能付き）、ホームセキュリティ関連装置、電子レンジ、無線送信機（ラジオ送信機）、電話送信機、2.4GHzで動作する無線デバイス（Bluetooth、無線電話機など）の近く（ノイズ発生の原因）
- 本機に過度の煙、ほこり、高音や振動を与える場所

■このような使用はしない

- 本機の上に重たいものを置かない
- 火気・熱器具の近く（温度が-10℃以下、または40℃以上の場所に置かない。湿気の多い地下室などを避ける。）
- 電気機器の近くで本機を操作すると干渉を起す恐れがあります。電気機器から離してください。

■傍受について

本機は通信に暗号化技術を用い第三者に傍受されにくい商品ですが、電波を使用するため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。

その他

- デザインや仕様は予告なく変更することがあります。
- 本書に記載のイラストはイメージです。実際と異なる場合があります。

商標について

- iPhone、iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Androidは、Google Inc.の商標です。
- Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc. USAの商標または登録商標です。